

閉会中における調査報告

産業経済常任委員会

開催日 平成25年2月12日(火)

出席者 常任委員6名(鶴飼、松山、石原、矢野、山中、立入)

説明員 上下水道部長 他

所管事務調査について

平成24年度予算執行の進捗状況等について、各部長より概要説明を受けました。主な質疑は下記のとおりです。

(上下水道部)

・湖南省上下水道事業経営プランについて

質疑

近年の水質汚濁や大飯原発の稼働による事故を想定した水質汚染対策等が懸念されていますが、自己水の確保が必要ではないか。

回答

湖南省の自己水は、2500 m³/日の飲み水は確保できるとの想定だが、他府県からの応援体制の確立も必要となってきます。

質疑

企業庁の吉川浄水場の液状化対策、施設の老朽化による安全性について。また、企業庁の統合による料金計画について。

回答

企業庁において、施設の更新計画の見直しがされており、施設の安全確保と契約水量等の課題と合わせて検討していく必要があります。

また、平成28年の南部、東南部の統一料金計画が、市の水道料金の値上げにつながらないよう要望していきます。

質疑

水道事業の課題として、施設の経年劣化による維持管理費や施設更新費の増大とは。

回答

市全体として、石綿管、老朽管等の更新を行っています。水道管の耐用年数は、

40年間で、今年度で北山台が終了し、今後、みどりの村、イワタニランド、サイドタウン、宝来坂、石部南地先等の管路更新を進めていきますが、施設の改良、更新も含め、今後費用がかかる見込みです。

質疑

下水道事業の収支見込みで、人件費の増加とは。

回答

上下水道合わせて合併時より、4名の削減ではありますが、人材育成が課題となっており、今後、水道技術管理者等の技術者の確保が必要であります。また、施設管理においても委託を行っているところではありますが、職員も管理できる体制が必要であり、人件費の増大が考えられます。このような状況を踏まえ、今後の運営体制の検討が必要となってきています。

質疑

公債費の削減はできますか。

回答

下水道事業の公債費の返済は、平成28年度がピークで約14億6千万円となり、それ以降は減少する見込みです。

水道事業は、26億円の現在高で、30億円を超えないような整備計画を検討し、施設更新を行っていきます。

・下水道使用料の改定状況について

下水道運営審議会での協議経過について、これまで審議会を2回、経営検討部会を4回開催し、3月19日の最終の審議会で答申の予定です。

・平成24年度下水道事業の実施状況について

質疑

工事、設計において、地元業者の選定は。

回答

指名業者の業者選定等は、契約審査会で行っていますが、地元優先で、基本は湖南市に本社、次に事業所があるところを優先にしています。次に甲賀エリア、南部エリアとしています。また、営業所については、契約検査課で調査を実施し、事務所のみで人がいない所は指名業者からはずしています。

- ・水道料金改定の見込みについて

昨年 9%の改定の答申でありましたが、現状の水量見込、整備計画を勘案して、8%の見込みになると思われます。

質疑

一般会計からの繰り入れも含め効果的な整備計画で、値上げしない方向で検討してほしい。

回答

水道事業の一般会計からの繰り入れについては、消火栓の維持管理費のみであります。下水道事業は、短期間で整備を行ったため借金が多いことから、一般会計の繰り入れに頼っています。

料金の改定時期等については、今後状況を見ながら検討していきます。

- ・平成 24 年度水道事業の実施状況について

(建設経済部)

- ・道路事業の進捗状況(土木建設課)
- ・三雲駅周辺整備事業(都市政策課)

質疑

三雲駅前のロータリー等跡地の活用について

回答

平成 26 年 4 月に道路の供用開始予定。駅前広場は、平成 28 年 4 月供用開始予定。三雲駅東側の利用は未確定で、都市計画用途の工業地域の指定となっておりますが、有効利用できるように今後取り組んでいきます。

質疑

三雲駅のトイレの整備について。

回答

現在のトイレは、JRの敷地内にあるため、改善整備は現状難しいですが、今後も整備の要望を行っていきます。

質疑

吉永山手線道路新設工事における大砂川のトンネル工事の経過について

回答

県との協議のいきちがいによって、遅れています。現在、県との協議を進めていて、平成 25 年発注予定として取り組んでいます。

(市民環境部)

- ・再生可能エネルギー事業について(地域エネルギー課)
- ・火葬場施設整備事業について(生活環境課)

質疑

火葬場で、プロポーザルの募集で、最低入れる基準について。

回答

炉の能力の基準は、決めています。最大処理能力を確認し、プレゼンテーションの際、休憩所等の内容に市民の要望が設けられているかチェックしていきます。

質疑

小水力発電の湖南省においての利用について。

回答

小水力は、高さ、水量によって発電が決まります。湖南省の自然河川での水力は厳しいのが現状です。

質疑

市民共同発電所の市民への周知は。

回答

市民共同発電についてのスキームが完成し、初号機が完成した。広報やHPでのPRで市民へ周知していく。商品券は発行主体を含め商工会と協議しており、市内全域へ広めていきたいと思えます。



(三雲駅周辺整備の現地踏査)



(市道野神8号線道路改良工事現地踏査)